

2009年11月11日

# 日本電子材料株式会社

## 2009年度 中間決算説明会

### 将来の見通しに関する記述についての注意

本資料で記述されている業績予想および将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。



## 中間期の概要

### 下期の取り組み

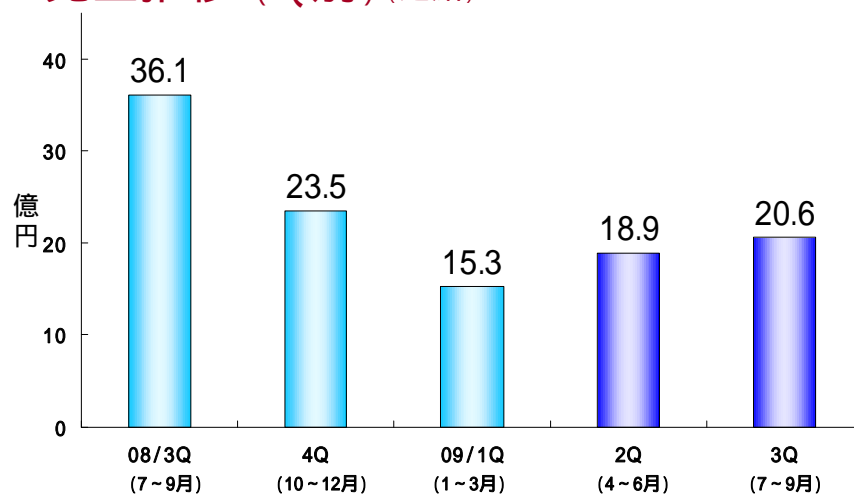
*Your Probing Partner*

2

## 事業の状況



### 売上推移 (Q別) (連結)



*Your Probing Partner*

3

## 上期の成果



- ロジック製品の売上確保
- 海外子会社の業績の回復
- MCの量産開始
- T社との共同開発

*Your Probing Partner*

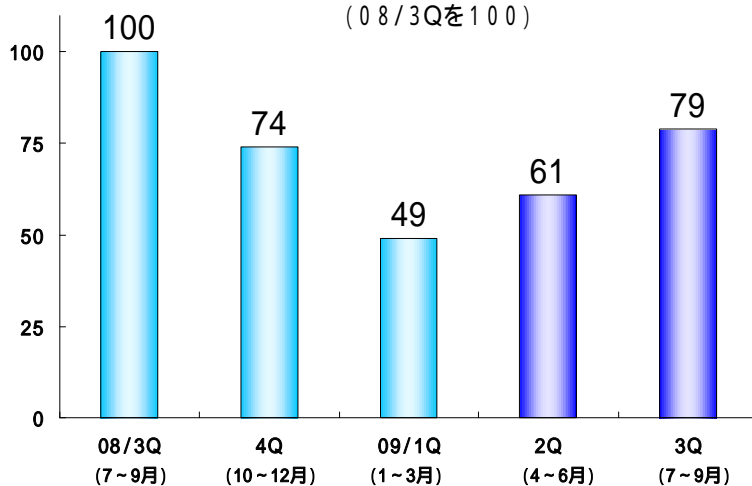
4

## 上期の成果



### ロジック製品の売上確保 (単体)

(08/3Qを100)



Your Probing Partner

5

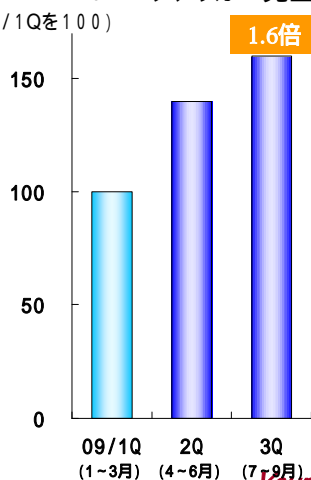
## 上期の成果



### 海外子会社の回復

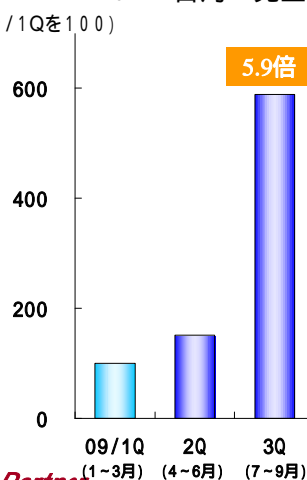
JEMアメリカ / 売上

(09/1Qを100)



JEM台湾 / 売上

(09/1Qを100)



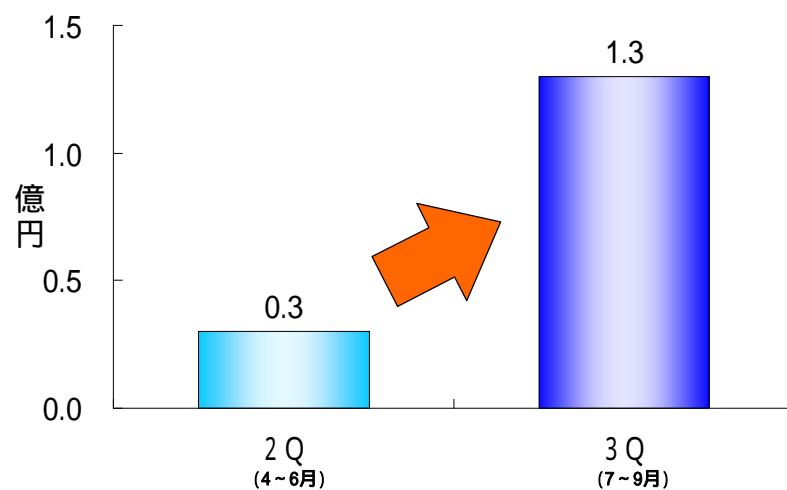
Your Probing Partner

6

## 上期の成果



### MCの量産開始



Your Probing Partner

7

## 上期の成果 T社との共同開発



### 共同開発の背景と目的

デバイスの回路微細化への対応、更なる検査効率の向上、テストコストの削減等の顧客ニーズに応じていくためには、両社の連携が重要であるとの認識で東京エレクトロン株式会社と一致し、メモリー半導体向けの次世代プローブカードについて、共同開発に取り組むことといたしました。

～9月17日リリース文書より抜粋～

Your Probing Partner

8

## 上期の成果 T社との共同開発



半導体検査用

### 次世代型を共同開発へ

日本電子材料 東京エレクトロと連携

半導体検査用品「プローブカード」大手の日本電子材料（同神戸市）は、半導体検査装置で国内最大手の東京エレクトロ（同豊田）との間で、半導体向けの次世代「プローブカード」を共同開発する。発表された。互いの研究成果を結び合わせることで、半導体の検査精度を向上して検査コストの削減を目指す。

（豊田）

半導体の種類ごとで、下は、半導体検査装置「板、シリコンエナジー」を製造する「プローブ」に結びつけられ、深い基盤にある微小な導線回路

（C）の通電を電気的検査する。従来の検査では、プローブカードの先端が、微小な導線に当たると、導線が断れる。検査精度を向上させるため、両社は、検査装置とプローブカードの両方を共同開発し、検査装置とプローブカードの両方を共同開発することで、検査精度を向上させる。両社は、検査装置とプローブカードの両方を共同開発し、検査装置とプローブカードの両方を共同開発することで、検査精度を向上させる。

09年9月18日神戸新聞 9

Your Probing Partner

## 2009年度中間期 連結業績



単位：億円

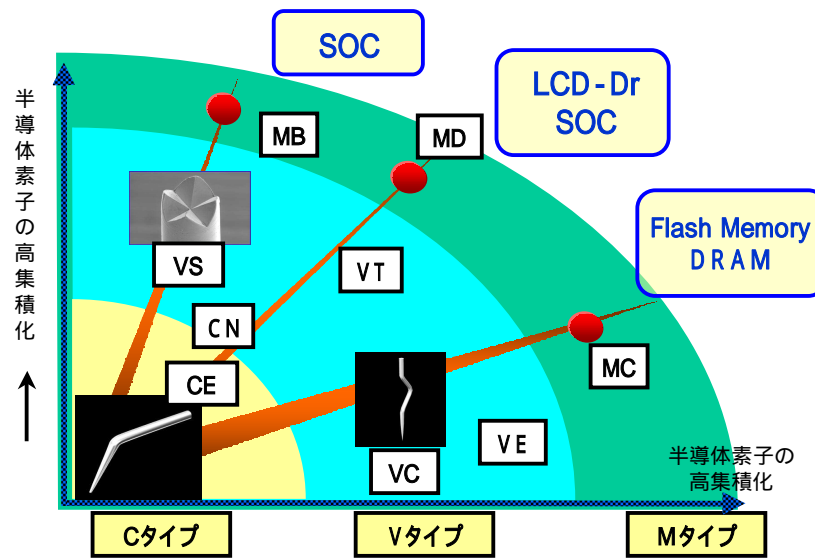
	2008年度 中間期実績	2009年度 中間期実績
売上高	69.7	39.5
営業利益	1.1	6.7
率%	1.6	
経常利益	1.2	7.2
率%	1.8	
当期純利益	0.9	7.5
率%	1.3	

Your Probing Partner

10

# 中間期の概要 下期の取り組み

# 製品ラインナップ



## 下期の取り組み



1. Vタイプの拡販
2. MCの安定的売上確保と原低推進
3. Cタイプの更なる市場拡大

*Your Probing Partner*

13

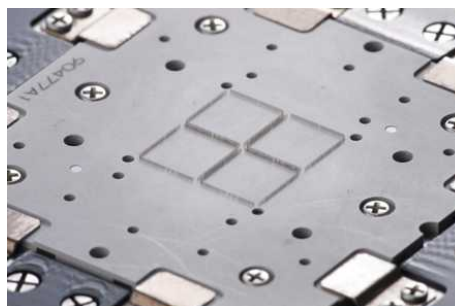
## Vタイプの拡販



### VTの量産拡販

《SOC向け 狭ピッチ 多数個同時測定用》

1. 高位置精度
2. 電氣的優位性
  - ・基板にMEMS技術活用
3. ピン単位交換可能
  - ・業界初



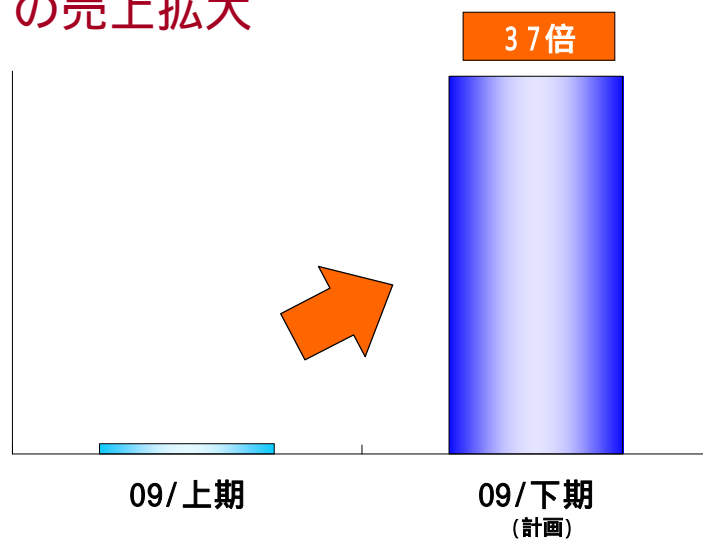
*Your Probing Partner*

14

## Vタイプの拡販



### VTの売上拡大



*Your Probing Partner*

15

## Vタイプの拡販



### VC掘り起こし

- ・海外メーカーへの積極販売
- ・特定用途メモリへの販売強化
- ・ロジック市場への投入

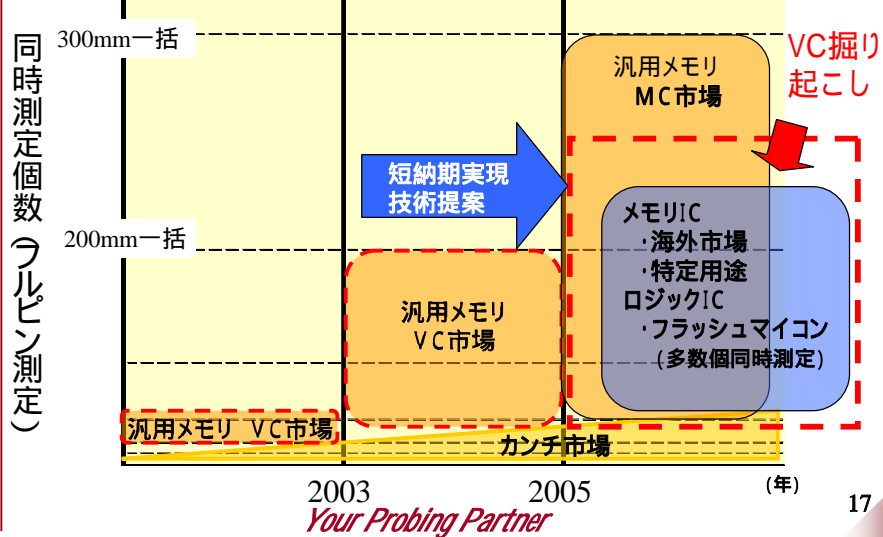
*Your Probing Partner*

16

## Vタイプの拡販



### VCの市場掘り起こし



## Vタイプの拡販



### VS2の拡販 (ロジック)

-SOC (フリップチップ) 向け スプリングピンタイプ-

- ・国内顧客へのサポート維持強化
- ・海外顧客へのプロモーション積極推進
- ・VS2の特徴・優位点の更なるアピール
- ・原価低減推進による価格競争力を向上

Your Probing Partner

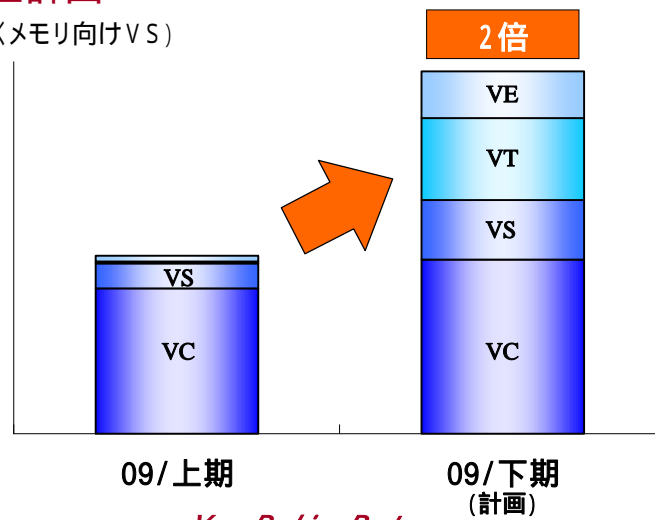
18

## Vタイプの拡販



### 売上計画

(除くメモリ向けVS)



*Your Probing Partner*

19

## MCの安定的売上確保と原低推進



### MCの競争力強化

- ・量産ラインの堅実な拡大
- ・FLASH低コスト版の量産化
- ・DRAM、300mmサンプル投入

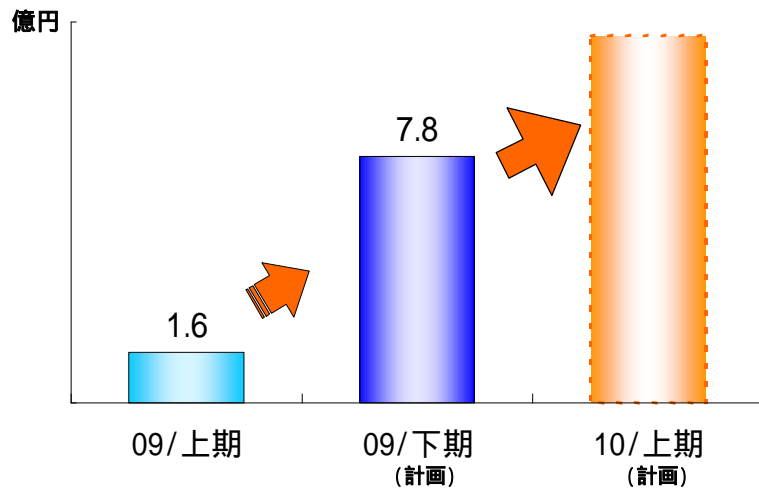
*Your Probing Partner*

20

## MCの安定的売上確保と原低推進



### MCの安定的受注確保



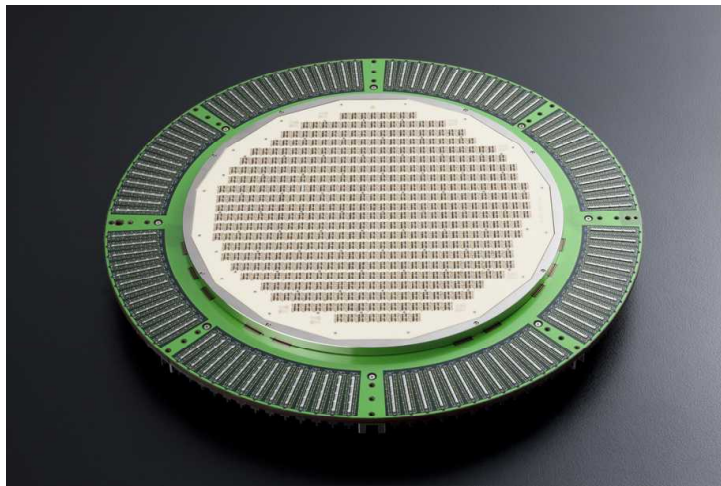
*Your Probing Partner*

21

## MCの安定的売上確保と原低推進



### MCの安定的受注確保



*Your Probing Partner*

22

## Cタイプの更なる市場拡大



### 受注拡大プロジェクト継続

1. 高性能合金針の投入
2. 海外工場の徹底活用
3. 更なる生産性の向上
4. 更なるCSの向上

*Your Probing Partner*

23

## まとめ



~ 下期黒字化をバネに  
10年の飛躍に備える ~

1. Vタイプ 新たな戦力を加え拡販強化
2. Mタイプ 本格的量産の開始
3. Cタイプ 品質、CSによる市場拡大

*Your Probing Partner*

24

## 通期連結業績見通し



単位: 億円

	2008年度 実績	2009年度 予想
売上高	108.6	96.0
営業利益	10.7	6.8
経常利益	11.3	7.0
当期純利益	14.7	7.0

配当は安定配当として年間10円(中間5、期末5)を予定

*Your Probing Partner*

25



ありがとうございました

<http://www.jem-net.co.jp/>

*Your Probing Partner*

26

## 補足資料 決算資料

## 補足資料 会社概要

## 連結貸借対照表

補足資料

単位:百万円

	2008年度末	2009年度第二四半期末
	金額	金額
<b>資産の部</b>		
流動資産	12,812	11,598
有形固定資産	3,196	2,988
無形固定資産	355	397
投資その他	913	876
<b>資産合計</b>	<b>17,278</b>	<b>15,861</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,183	4,612
固定負債	1,106	1,946
<b>負債合計</b>	<b>7,289</b>	<b>6,558</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	10,605	9,802
評価換算差額等	-616	-499
純資産合計	9,989	9,302
<b>負債純資産合計</b>	<b>17,278</b>	<b>15,861</b>

## 連結損益計算書

補足資料



単位: 百万円

	2008年度第二四半期累計	2009年度第二四半期累計
	金額	金額
売上高	6,979	3,955
<b>売上総利益</b>	<b>2,054</b>	<b>687</b>
販管費	1,942	1,363
<b>営業利益又は営業損失</b>	<b>111</b>	<b>-676</b>
営業外収益	44	57
営業外費用	28	108
<b>経常利益又は経常損失</b>	<b>128</b>	<b>-727</b>
特別損失	6	-
<b>税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失</b>	<b>122</b>	<b>-727</b>
法人税等合計	25	22
<b>四半期純利益又は四半期純損失</b>	<b>97</b>	<b>-750</b>

*Your Probing Partner*

29

## キャッシュフロー

補足資料



単位: 百万円

	2008年度第二四半期累計	2009年度第二四半期累計
	金額	金額
営業活動によるキャッシュフロー	493	-445
投資活動によるキャッシュフロー	-916	-5,301
財務活動によるキャッシュフロー	-105	-130
現金及び現金同等物に係る換算差額	-34	29
現金及び現金同等物の増減額	-562	-5,848
現金及び現金同等物の期首残高	4,257	7,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,694	1,330

*Your Probing Partner*

30

## 個別、主要子会社

補足資料



単位:百万円

	2008年度中間				2009年度中間			
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利	売上高	営業利益	経常利益	当期純利
個別	6,159	98	40	95	3,479	624	632	439
JEMアメリカ	1,159	157	173	107	510	16	27	19
JEMヨーロッパ	167	30	34	23	80	5	4	3
JEM台湾	176	104	113	109	74	61	59	56
JEM香港	670	37	39	32	291	38	36	38

*Your Probing Partner*

31

## 投資、配当

補足資料



単位:億円

	08年度	09年度	
		中間実績	通期計画
開発費	15.4	5.3	10.5
設備投資	8.0	2.5	4.0
減価償却	11.0	4.2	7.0

単位:円

	07年度	08年度	09年度(予想)
配当	年間20 中間10、期末10	年間15 中間10、期末5	年間10 中間5、(期末5)

*Your Probing Partner*

32

補足資料 決算資料

補足資料 会社概要

*Your Probing Partner*

33

## 会社概要

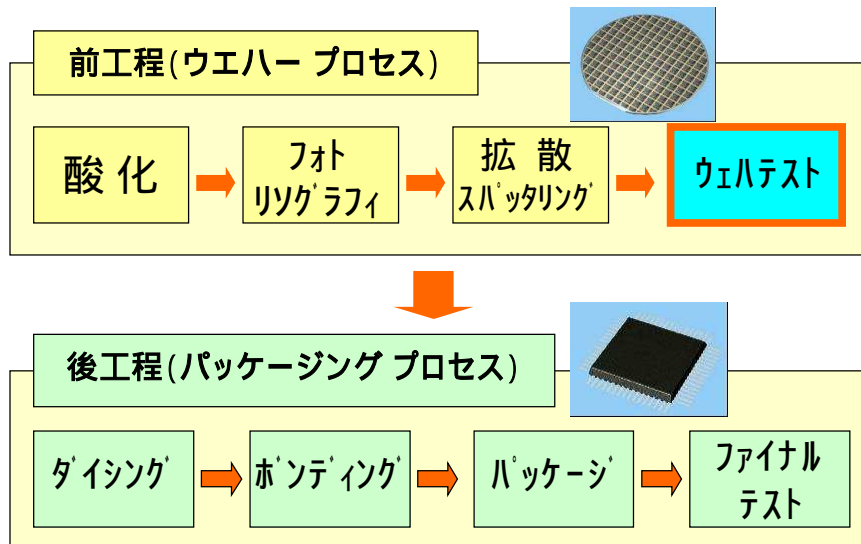
補足資料

会社名	日本電子材料株式会社 <b>J</b> APAN <b>E</b> LECTRONIC <b>M</b> ATERIALS CORPORATION	
設立	1960年4月	
資本金	9億8千万円	
上場	東証1部 (証券コード6855)	
子会社等	国内1 海外6	
従業員	約850名(連結)	
事業内容	半導体検査用部品(プローブカード)等 <sup>34</sup>	

*Your Probing Partner*

## 半導体の製造工程

補足資料



Your Probing Partner

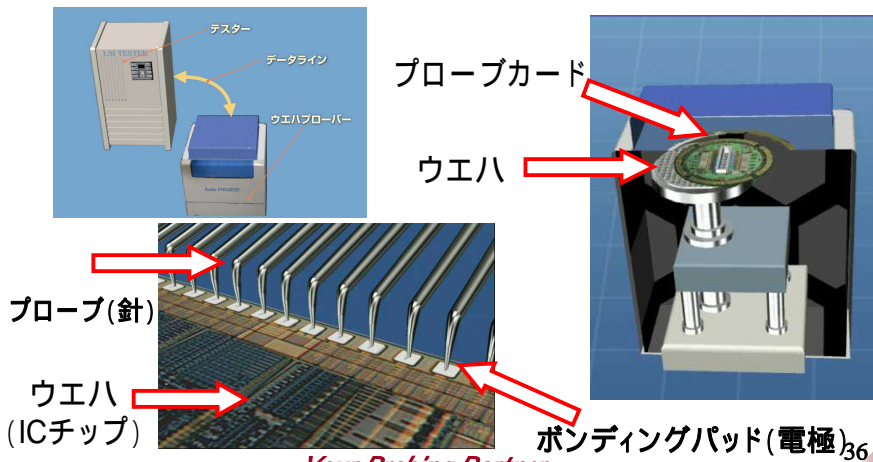
35

## プローブカードとは

補足資料



半導体のウエハテスト工程で、テスターからの電気信号をICチップに伝える役割を果たし、半導体製造には必要不可欠な製品です



Your Probing Partner

36

## 国内拠点

補足資料



尼崎(本社)

- ・ 管理部門統括
- ・ 営業統括
- ・ 開発統括



熊本(事業所)

- ・ 生産統括
- ・ 製品設計統括
- ・ 技術統括

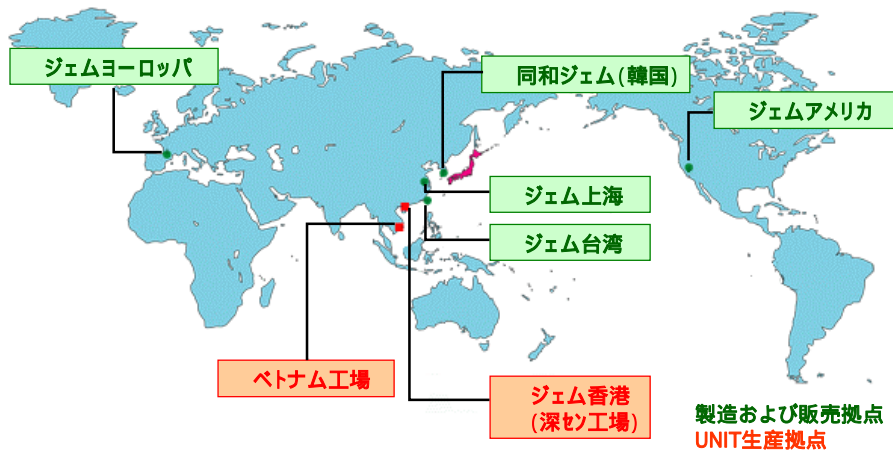


*Your Probing Partner*

37

## 海外拠点

補足資料



*Your Probing Partner*

38

# プローブカード売上高(上位5社)

補足資料



2008年 単位: \$M

Cantilever			Advanced		
1	JEM	50.8	1	FFI	210.2
2	MJC	43.1	2	MJC	144.6
3	MPI	29.6	3	JEM	79.8
4	TCL	25.9	4	Phicom	36.1
5	SV	20.0	5	TSE	26.7

(Sources: VLSI Research Report ) 39

*Your Probing Partner*

